

(お知らせ)

令和2年8月17日
防衛省

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練
移転に関する訓練計画概要について

米軍再編に係る嘉手納飛行場及び三沢飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、以下のとおりとなりましたので、お知らせします。

今回で訓練移転は107回目（国内58回、グアム等49回）となり、国内への訓練移転は、平成18年5月の再編の実施のための日米ロードマップに基づき、二国間の相互運用性の向上及び米軍飛行場の周辺地域における訓練活動の影響を軽減するために行われるものです。

- 期 間：令和2年8月24日（月）～8月28日（金）
- 参加部隊：〔米軍〕
第18航空団（嘉手納）、第35戦闘航空団（三沢）
〔航空自衛隊〕
第2航空団（千歳）、第1輸送航空隊（小牧）、第2輸送航空隊（入間）、第3輸送航空隊（美保）
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：北海道西方空域及び三沢東方空域
- 参加規模：タイプⅡ
〔米軍〕
F-15×6機程度、F-16×6機程度
人員200名程度
※人員、物資輸送のため輸送機が期間の前後に飛来する予定
〔航空自衛隊〕
F-15×8機、C-130×1機、C-1×1機、C-2×1機
- その他：今回の訓練に際し、新型コロナウイルス感染防止対策として以下の取り組みを実施する予定です。
 - ・米軍訓練参加者は日本に居住しており、全員がPCR検査を受診の上、陰性が確認された者のみが参加します。
 - ・基地及び宿泊先のホテル以外の場所へは外出を行わないことで米側と合意しております。
 - ・多人数で行動し部外者と接触する機会のある戦闘機見学や飛行隊長へのインタビュー等は実施しません。

※ 本内容については、今後、変更される場合があります。

以上